

令和 2 年度  
東京藝術大学 美術学部 デザイン科 入試選抜一次試験

鉛筆写生  
石膏像デッサン

令和 2 年 2 月 27 日 (木) 9 : 00 ~ 16 : 00

問題

台上に置かれた石膏像（奴隸）を与えられた画用ボードに  
鉛筆デッサンしなさい。

条件

- ・画用ボードは縦位置とする

提出物

- ・鉛筆デッサン作品

注意事項

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に反するものは失格とする

指定された持参用具

鉛筆写生に必要な用具一式  
(画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です)

採点基準

与えられた対象物を観察し、得られた諸要素を再構成する能力及び基礎的な描写能力を  
審査する

鉛筆写生  
構成デッサン

令和 2 年 2 月 28 日 (金) 9:00~16:00

問題

与えられたモチーフ 3 種 (鏡・空豆・アボカド) と任意の球体を自由に構成して与えられた画用ボードに鉛筆デッサンしなさい。

条件

- ・画用ボードは縦位置とする
- ・モチーフ 3 種は画面内に各 1 点以上描写すること
- ・任意の球体の大きさ、数、質感は自由に設定してよい
- ・空豆は加工してもよいが、アボカドは加工しないこと
- ・鏡に映り込んだものは描いてもよい 但し自身の顔は描かないこと

配布物

- ・鏡 (塩化ビニール製) 1 枚
- ・空豆 2 本
- ・アボカド 1 個
- ・草案用紙 (B4 コピー用紙) 5 枚

提出物

- ・鉛筆デッサン作品

注意事項

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に反するものは失格とする

指定された持参用具

鉛筆写生に必要な用具一式  
(画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です)

採点基準

与えられた対象物を観察し、得られた諸要素を再構成する能力及び基礎的な描写能力を審査する

令和 2 年度

東京藝術大学 美術学部 デザイン科 入試選抜二次試験

## デザイン I [色彩]

令和 2 年 3 月 8 日 (日) 9 : 00 ~ 15 : 00

### 問題

- A. 始めに B 3 イラストボード中央にコンパスで直径 26cm の円を描きなさい。  
B. 次にその円を構成要素の 1 つと捉え、与えられたモチーフ(ガーベラ・アスパラガス・シュロ縄・目玉クリップ)と組み合わせて B 3 画面に色彩構成をきなさい。

### 条件

- ・円の扱いは自由。素材や物体に見立てても構わない
- ・円とモチーフの数は自由。その場合の円は、Aで規定された円を除いてサイズは自由
- ・モチーフ 4 種は画面内に各 1 点以上配置すること
- ・アイデアスケッチは配布された草案用紙 (B 4 サイズ) を使用すること
- ・イラストボード (B 3 サイズ) は横位置とする

### 配付物

- ・ガーベラ (ピンク) ・アスパラガス ・シュロ縄 (1 m) ・目玉クリップ
- ・B 3 イラストボード (1 枚) ・草案用紙 (B 4 サイズ× 5 枚) ・雑巾 (1 枚)

### 提出物

- ・色彩作品 (B 3 イラストボード、横位置)

### 注意事項

- ・問題用紙及び配付物はすべて机上に残すこと
- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み、使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に違反した場合は、失格とする

### 指定された持参用具

色彩表現に必要な用具一式 (絵具は水性絵具を使用)、鉛筆、消ゴム、カッターナイフ、直定規 (60cm 以下)、三角定規 (30cm 程度)、コンパス

### 採点基準

出題をどのように理解し、構想したかとともに、色彩及び平面構成の造形能力を審査する

令和 2 年度

東京藝術大学 美術学部 デザイン科 入試選抜二次試験

## デザインⅡ [形体]

令和 2 年 3 月 9 日 (月) 9 : 00 ~ 15 : 00

### 問題

与えられたモチーフ（ソプラノリコーダー）を用いて、「メロディ」をテーマに、美しく立体構成しなさい。

### □ 条件

- ・モチーフの扱いは自由。ただし切断などの加工は禁止
- ・立体は与えられた粘土のみを使用し、容量内で制作すること
- ・高さは 30 cm 以内とし、粘土板からはみ出さないこと
- ・自立すること
- ・粘土べらは加工しないこと
- ・作品の中に芯は入れないこと

### □ 配付物

- ・ソプラノリコーダー ・粘土(3 kg × 2個) ・粘土板 ・粘土べら(1セット)
- ・草案用紙(B4サイズ × 5枚) ・雑巾(1枚) ・新聞紙(2枚) ・画鋸(1個)

### □ 提出物

- ・形体作品（粘土、粘土板上に配置）

### □ 注意事項

- ・問題用紙及び配付物はすべて机上に残すこと
- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み、使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に違反した場合は、失格とする

指定された持参用具

鉛筆、消ゴム、カッターナイフ、直定規 1 本 (60cm 以下)、三角定規 1 組 (30cm 程度)、コンパス

採点基準

出題をどのように理解し、構想したかとともに、形体及び立体構成の造形能力を審査する